資料３－１

新型コロナウイルス感染症に関する見解

令 和 ３ 年 ６ 月 16 日
岩手県新型コロナウイルス
感 染 症 対 策 専 門 委 員 会

新型コロナウイルス感染症については、全国的には新規感染者数が減少傾向にある一方、懸念される変異株（N501Y や L452R の変異があるアルファ株やデルタ株）が確認されており、岩手県においても、盛岡保健医療圏域において新規感染者が継続して確認され、感染経路が不明な事例も少なからず認められています。

ついては、今後のまん延防止に向け、下記のとおり専門委員会の見解を示します。

記

１　現状（令和３年６月）

(1) 本年５月末までに確認された感染事例は、変異株スクリーニング検査の結果等を併せ考えると、大型連休中の人の往来を端緒として、徐々に変異株（主に N501Y の変異があるアルファ株）による感染に置き換わってきたものと考えられます。

(2) 岩手県内では、５月から６月にかけて、盛岡市内繁華街の飲食店を発端とするクラスターが多く確認されており、それが周辺地域における家族又は職場での感染に連鎖する傾向が見られます。また、５月中旬以降の新規感染患者については、20 代から 30 代の年齢層の割合が高い傾向にあります。

２　専門的見地からの助言

(1) 岩手県民の皆さまには、当分の間、同居者等普段から顔を合わせている方以外の方との、飲食やマスクなしでの会話を伴う接触に慎重な対応をお願いします。

特に、医療、福祉、教育等の業務に従事する方については、より慎重な対応とともに、厳格な健康管理や自主的な隔離措置等の対応を検討するようお願いします。

(2) 感染症予防として、即効性のある簡便な対策を求めてもそれは得られません。

真に感染予防効果が得られるのは、基本的な感染予防策を愚直に継続することだけです。改めて、常時マスクの着用、手洗い・手指消毒の励行、感染リスクが高まる場面の回避（三密だけでなく一密でも感染し得ることに留意）に努めてください。

(3) 感染拡大を防止するためには、患者や無症状病原体保有者を速やかに確認することが大事です。これが遅れたために、岩手県内でも医療機関や高齢者施設、教育・保育施設等で大きなクラスターに発展した例があります。

発熱、咳、全身倦怠感等の症状を感じたり、感染患者との接触に心当たりがある場合は、独りで問題を抱え込むのではなく、かかりつけの医師や受診・相談センターに速やかに電話相談してください。

(4) 令和３年２月 19 日付け「新型コロナウイルス感染症のまん延期における検査方針」に基づき、クラスターが多く確認されている盛岡市内繁華街における飲食店の従業員等を対象とする、PCR 検査の実施を推奨します。